

# 東京が進める事前復興の取組



関東大震災100年

幾多の災害を乗り越えてきた東京。  
備えよう、明日の防災

東京都 都市整備局 技監  
安部 文洋

## 目次

- 東京の強靱化
- 都市の事前復興

## 都市の事前復興

あらかじめ都市を強靱化し、災害を減らす  
⇒これも、事前復興の取組



被災時の復興の手順等をあらかじめ確認し、都民  
と共有する取組

東京都が進める事前復興の取組

## 東京の強靱化

あらかじめ都市を強靱化し、災害を減らす  
(例)

- ・耐震化や不燃化、無電柱化等
- ・豪雨災害に対する高台まちづくりや、流域対策等

⇒TOKYO強靱化プロジェクト公表(2022年12月)

## 東京都が進める事前復興の取組

TOKYO強靱化プロジェクトの紹介(紹介動画)



## 東京都が進める事前復興の取組

TOKYO強靱化プロジェクトの紹介(紹介動画)



## 東京都が進める事前復興の取組

TOKYO強靱化プロジェクトの紹介(紹介動画)



## 構成

## 第1章 TOKYO強靱化プロジェクトの考え方

- 1 プロジェクト策定の背景
- 2 プロジェクトの位置付け
- 3 プロジェクト策定に当たっての基本方針

## 第2章 東京に迫る5つの危機と複合災害

- 1 5つの危機
  - (1) 気候変動により、頻発化・激甚化する『風水害』
  - (2) いつか起こり、甚大な被害を及ぼす『地震』
  - (3) 全島避難や都市機能の麻痺に直結する『火山噴火』
  - (4) 都民生活や社会経済活動に支障をきたす『電力・通信等の途絶』
  - (5) “密”がリスクとなり、社会経済活動を脅かす『感染症』
- 2 被害を甚大化・長期化させる複合災害のリスク

## 第3章 強靱化に向けて2040年代を目指す東京の姿

- 1 基本的な考え方
- 2 各危機に対し強靱化されている姿
  - (1) 激甚化する風水害から都民を守る
  - (2) 大地震があっても「倒れない・燃えない・助かる」まちをつくる
  - (3) 噴火が起きて都市活動を維持する
  - (4) 災害時の電力・通信・データ不安を解消する
  - (5) 感染症にも強いまちをつくる

## 第4章 各危機に対するプロジェクト

- 1 プロジェクトの構成
- 2 各危機に対するプロジェクト
  - (1) 激甚化する風水害から都民を守る
  - (2) 大地震があっても「倒れない・燃えない・助かる」まちをつくる
  - (3) 噴火が起きて都市活動を維持する
  - (4) 災害時の電力・通信・データ不安を解消する
  - (5) 感染症にも強いまちをつくる
- 3 首都圏全体で複合災害を乗り切る

## 第5章 プロジェクトの推進

- 1 今後のプロジェクト推進の考え方
- 2 プロジェクトの効果的な推進策
- 3 都民等への情報発信

## 第6章 事業規模

- 1 概算事業規模
  - (1) 総事業規模（概算）
  - (2) 事業規模（概算）の内訳







## 東京都が進める事前復興の取組

# (例) まちづくりの無電柱化

### 【事業区域内的の義務化】

- 》区画整理事業(都補助対象)
- 》都市開発諸制度の活用

### 【誘導・助成の強化】

- 宅地開発における無電柱化助成 
- 木密地域での無電柱化(私道等) 

⇒2040年代に、電柱のないまちに



<区画道路の無電柱化事例(区画整理事業)>



<宅地開発における無電柱化助成事例>

## 東京都が進める事前復興の取組

### 【都用地を活用した移転先の整備】

- ・木密地域の不燃化を加速するため、都用地を活用し、民間事業者が権利者等の移転先を整備

#### ○足立区江北地区での取組

##### ★事業の経緯

令和3年3月	事業者と基本協定締結
令和4年3月	工事着手
令和5年5月	入居開始(予定)

##### ★施設概要

構造:木造/地上3階

用途:1階 店舗、駐車場 他

2、3階 住宅(全16戸)

※うち5戸が木密地域等からの移転用住戸

付帯施設:屋外交流スペース 等



施設外観イメージ



屋外交流スペースイメージ

本事業  
のHPは  
こちら




## 東京都が進める事前復興の取組

# 事前復興の取組

### <経緯>

- 阪神淡路大震災を踏まえ、世界に先駆け取組を開始(約30年前)
- 毎年度の復興訓練や、東日本大震災等を踏まえた取組の見直し等を実施

### <取組>

1. 将来像の共有化 (どのようなまちに)
  2. 手順等の策定(どのような手順で)
  3. 訓練(復興計画等の策定等)
  4. 都民の皆様を取組を知っていただく(PR)
- 

# 東京都が進める事前復興の取組

## 1. 将来像の共有化（どのようなまちに）

### 震災復興グランドデザイン(平成13年5月)

- 首都直下型地震による一つの被害想定を基に、都が被災後に作成する、「復興の理念・目標と基本方針」や「広域インフラと市街地整備の計画」、「実現方策」について、**あらかじめモデルプランとして示したもの**



### 都市復興の理念、目標及び基本方針(令和元年6月)

- 本基本方針等は、東京が、地震や豪雨、暴風、火山噴火などによる自然災害等により被害を受けた場合に、**都市復興の方針・計画の策定や事業を実施する際の指針として活用**する。



# 東京都が進める事前復興の取組

## 都市復興の理念、目標及び基本方針(令和元年6月)

### ◎ 4つの理念：

- 》安全でゆとりある都市
- 》世界中の人から選択される都市
- 》持続的な発展を遂げる都市
- 》共助、連携の都市



### ◎ 復興の目標：被災を繰り返さない、活力とゆとりある高度成熟都市の実現

### ◎ 基本方針：対象地域、復興に関する方針、多様な主体との連携、復興期間等を記載

# 東京都が進める事前復興の取組

## 2. 手順等の策定

### 東京都震災復興マニュアル(H9年作成、最新R3.3)

- 都市復興手順や、執行体制を記載
- 「都民向け」と「行政(都・区市町村)向け」の2部構成

【復興プロセス編】

(都民)



【復興施策編】

(行政向け)



「第1章 復興体制の構築」

「第2章 都市の復興」

「第3章 住宅の復興」

「第4章 暮らしの復興」

「第5章 産業の復興」

### 市街地の事前復興の手引き(H27)

- 区市町村における事前復興の具体的な取組内容等の指針
  - 区市町村レベルの復興まちづくり計画の事前検討
  - 地域レベルの復興まちづくり計画の事前検討
  - 時限的市街地の事前検討
  - 地域コミュニティの形成と復興まちづくりの事前検討



## 東京都が進める事前復興の取組

# 復興の手順

### ①都市復興方針の策定(~2週間)

〔被災状況の把握〕

〔復興方針と対象区域の決定(建築制限の検討等)〕

### ②都市復興計画等の策定(~6カ月)

〔復興事業の実施に向け、都市計画等決定〕

〔被災者支援の準備(時限的市街地等)〕

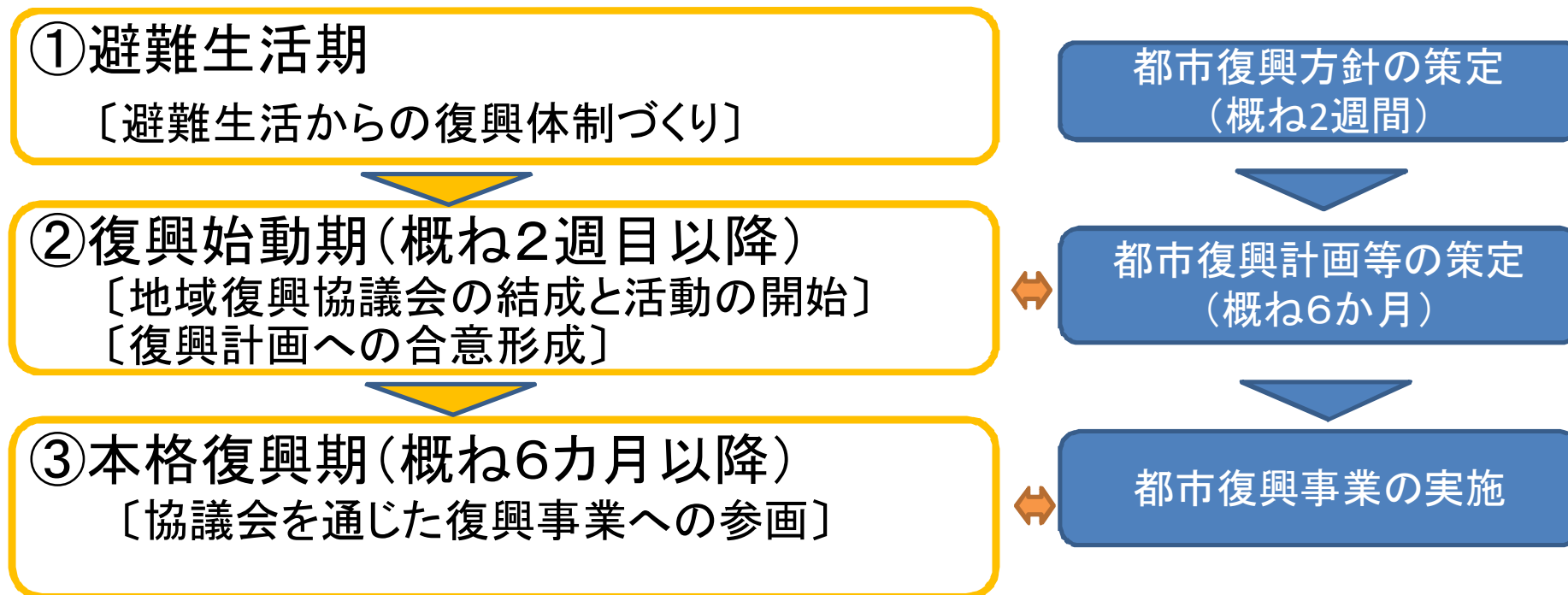
### ③復興事業の実施(6カ月以降)

〔区画整理事業等の実施に向けた手続き等〕

〔移転および工事の実施〕

## 東京都が進める事前復興の取組

### 復興の手順（都民の取組）





## 東京都が進める事前復興の取組

### (3) 「復興訓練」の取組

#### 4つの事前復興訓練

- ①区市町村職員等が被災後の復興計画等を策定
- ②区市町村職員等が被災前に地域の訓練を企画
- ③都職員が、都全体の方針・計画等を策定
- ④航空写真等で効率的に家屋被害を把握

⇒ 25年間 延べ2,200人が参加  
2020年度からオンラインで実施

# 東京都が進める事前復興の取組

## (3) 「復興訓練」の取組

### ① 都市復興訓練

区市町村職員等を対象に、都内から対象地区を選定し「復興計画（原案）」等を策定する図上訓練

#### 【2022年度実施内容】

- 参加者：区市町村職員、UR、都市づくり公社、災害復興まちづくり支援機構計59名が参加
- 訓練内容：被害分析を踏まえた復興方針および復興区域の検討  
時限的市街地の位置・内容等の想定、復興計画及び復興事業の検討等
- 複合災害（「震災」×「水害」）を想定（初）
- 「新たな被害想定の見直し」（2022年5月）を反映（初）

### ※2022年の事例

【復興計画(高規格堤防の整備)】



# 東京都が進める事前復興の取組

## ②復興まちづくり実務者養成訓練

区市町村が地域住民との訓練実施にあたり、担当職員の訓練立案能力を高めるための養成訓練

○対象者：区市町村職員

○訓練内容：

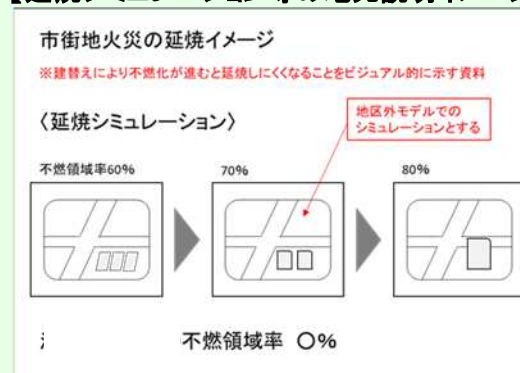
- ・最新の取組事例や、模型を使った仮設住宅の配置検討など取組手法を学習。
- ・訓練生が、所属する区市町村の一部を選択し、当該地において訓練を実施のための企画書を作成

## ※2022年の事例

【地元PR用の水害動画イメージ】



【延焼シミュレーション等の地元説明イメージ】



# 東京都が進める事前復興の取組

## ③ 広域都市復興訓練

都庁職員を対象に、東京都全体の復興方針・計画等を策定する図上訓練

### 【2022年度実施内容】

#### ○ 訓練内容：

- ・ 「都市復興の理念・目標及び方針」を基本に、首都東京の復興を推進する方針や、被災状況を踏まえた復興区域や広域インフラ等の整備計画
- ・ 復興区域ごとの復興計画（適用事業等）及び費用等の算定、等

○ 参加者：都庁の職員 24名

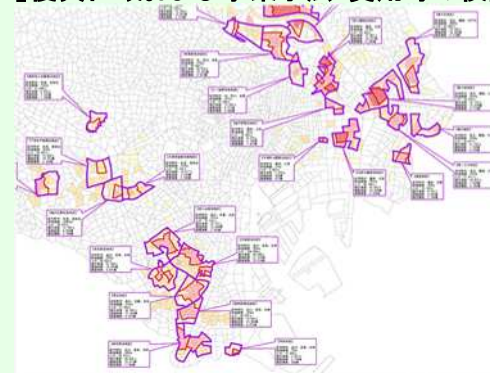
○ 「新たな被害想定の見直し」（2022年5月）を反映（初）

## ※2022年の事例

【東京の復興を推進する広域インフラ整備】



【復興区域および事業手法・費用等の検討】



# 東京都が進める事前復興の取組

## ④家屋被害調査訓練

- 対象者 : 都庁の職員（都市整備局市街地整備部）  
: 区市町村職員
- 訓練内容 : 都と区市町村が連携し、被災時に国から提供される航空写真等を活用して、迅速に建物の被災状況を把握

### 【2022年度実施内容】

- ・航空・衛星写真等から街区別に被災状況を判断し、デジタル地図に記載（都職員）
- ・都から送付された被災状況のデジタル地図を基に、現地を確認し、データを修正（区市町村職員）

### ※2022年の事例



## 東京都が進める事前復興の取組

### オンラインによる図上訓練の実施

【過去の訓練状況】(都市整備HPより)

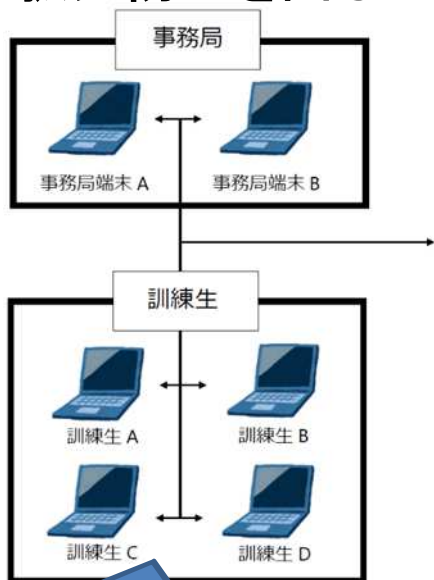


コロナ防止の観点から、これまで同様の「三密」前提の訓練実施は困難  
⇒DXの活用により、非接触・遠隔方式を検討

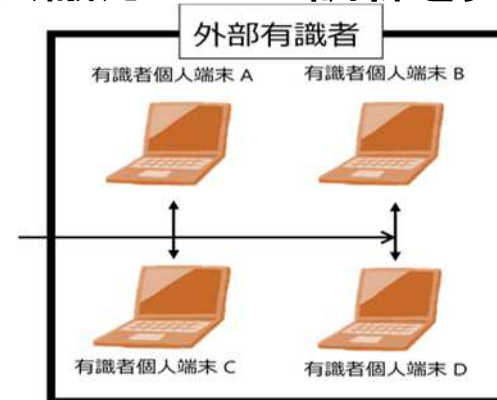
# 東京都が進める事前復興の取組

## オンラインによる図上訓練の実施

》感染の拡大防止を図るため、外部とも接続したWeb会議方式での訓練を実施中



訓練生は自宅や自席で資料を同時に編集し成果を発表



外部有識者は自宅にて訓練生の発表へ質疑・講評

# 東京都が進める事前復興の取組

## 4. 都民の皆様を取組を知っていただく

### 住民参加型「シンポジウム」の開催

- 目的 都民及び行政職員に対する都市復興の意識啓発
- 規模 平成12年度より実施し、延べ6,800名が参加
- 内容 基調講演、都からの報告、パネルディスカッション

⇒今年度は、オンラインを併用



### 地域協働復興の普及啓発事業の実施（H31.4～R4.3）

#### 【都民提案事業】

都民等が都市復興プロセスを学ぶためのセミナー等を、  
民間団体等が開催する場合に支援





# 東京都の事前復興における取組

## 地域協働復興の普及啓発事業の実施（H31.4～R4. 3）

### 事例1：復興キャンプによる、復興の模擬体験



### 事例2：オンラインを活用した地元勉強会の実施（早稲田大学・新宿区戸塚協議会）

2021/12/11開催 戸塚協働復興活動セミナー「お逃げ地区づくりWS」  
開催方法の模式図



# 東京都が進める事前復興の取組（まとめ）

あらかじめ都市を強靱化し、  
災害を減らす

◇TOKYO強靱化プロジェクト等



被災時の復興の手順等を  
あらかじめ確認し、都民と  
共有

- ◎ 将来像の共有化  
（「都市復興の理念・目標および基本方針」等）
- ◎ 手順等の策定（復興マニュアル等）
- ◎ 訓練（復興計画の策定等）  
（4つの訓練/オンライン方式）
- ◎ 都民の皆様が取組を知っていただく  
（シンポジウム、地域協働復興普及等）



計画的・スピード感ある復興につなげてまいります。

# 東京都の事前復興における取組

## ありがとうございました



**HTT** 能力を  
へらぎ  
つくる  
ためる  
*Tokyo Tokyo*